

日本橋架橋百年祭

平成23年10月30日（日）、日本橋開橋100年を

記念し、日本橋架橋百年祭が行われました。

きしがみよねぞう

祭では、岸上米蔵さん（100歳）夫婦三代によ

ぞ

る「夫婦三代渡り初め」などが行われ、100年を

祝いました。「夫婦三代渡り初め」は、橋の完成を

祝い、長く橋が使われるよう、行われるものです。



ぞ

▲夫婦三代による渡り初め



かわごえはんひなわじゅうてつぽうたい

えんぶ

▲川越藩火縄銃鉄砲隊保存会による演舞



▲船着場の完成



そうじゅうろうかし

▲船着場を「双十郎河岸」と命名

日本橋船着場

100周年に合わせ、平成23年4月3日、日本橋南

りんせつ

東橋詰（湊の広場）に隣接し、船着場が完成しました。

船着場は、同年7月に日本橋にゆかりのある歌舞伎

かぶき

やくしや さかたとうじゅうろう

役者の坂田藤十郎さんと市川團十郎さんからとって

そうじゅうろうかし

な

「双十郎河岸」と名づけられました。